



ヨゼフ アベイヤ 司教 認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

5月 聖母月

「マリア様に倣って」

ヨゼフ・アベイヤ司教

(福岡教区長)

5月は「聖母マリアの月」である。教会の伝統において大切に受け継がれてきた聖母マリアへの信心に学びつつ、福音に示されたその心に倣い、神との交わりと人との関わりを深める歩みへと招かれている。



教区創立100周年巡礼指定教会・浄水通教会のルルド

カトリック教会では伝統的に5月は「マリアの月」と呼ばれてきました。マリア様への信心はカトリック教会の大きな宝物だと思えます。実際に、様々な国を訪ねますと、マリア様への信心がどれだけ信仰の歩みに根ざしているかが分かります。

それぞれ国には親しまれているマリア様への信心があります。フランスのルルドの聖母、メキシコのグアダルーペの聖母、ブラジルのアパレンダの聖母、私自身の故郷のモンセラットの聖母等です。日本では、もしかすると信徒発見の聖母になるのではな

いでしょうか。ただ、そのすべての中心はいつも「心」です。「マリア様の心」です。

マリア様は、私たちに「心の道」を教えてください。マリア様に倣って、私たちは神との親しい関わりを導かれ、生活においてすべての

世界広報の日・献金

(5月10日 復活節第6主日)

テーマ：人間の声と顔を守る

「世界広報の日」は、第2バチカン公会議で定められ、1967年以來、毎年、特別のテーマが決められ、教皇メッセージが出されます。

福音宣教は私たちの使命です。「世界広報の日」は、この福音宣教の分野の中でもとくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、SNSなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金を捧げる日です。

今年の第60回世界広報の日の教皇メッセージは、教区ホームページや右記QRコードからご覧になれます。



5月の意向

教皇の意向のために祈りましょう

【教皇の意向】すべての人に食べ物を【日本の教会】子どもたち

人々と心から関わるよう導かれます。マリア様について様々な話が伝えられていますが、一番大切なことは、福音書に記されているマリア様の姿を心に留めることです。

神に求められた道を受け入れるマリア様の従順(ルカ1:38)、イエスの誕生のときに、すべてを心に納めて、思いめぐらしていたマリア様の母としての姿勢(ルカ2:19)、十字架の下で、ご自分の子イエスの、忠実な弟子としてのマリア様の姿(ヨハネ19:25-27)は、マリア様の心を表しています。

エリザベトを訪ねたマリア様は、エリザベトの家に入って挨拶をし、喜びをもたらして自分自身は変えられたと体

すべては神の憐れみによるものです。神は、小さな者を心に留めてくださり、祝福されます。神のこぼれに心を開く人は祝福され、祝福をもたらす人になります。

神の霊に満たされたマリア様は現実を目を向けます。矛盾に満ちた現実が見えてきます。マリア様は、その現実の中で苦しんでいる人々の痛みを共感しながら、神の訪れによつてこの現実が変わると宣言します。神のこぼれによつて自分自身は変えられたと体

子どもの日にあたって



アベイヤ司教 (画：中2 田中純君・西新教会)

ともだちのみなさん、「こどものひ」をむかえて、おめでとうございます。きょうかいでともだちと

どう「こども」をむかえて、きょうかいでともだちと

時の話題

日本での司牧を終えて

月日の経つのは早いもので、神言修道会の宣教師として来日して47年。ポランドで叙階後、希望宣教師を記入する欄に、私は迷うことなく第3希望までを「Japan」「Japan」と記入しました。

来日してから南山大学で日本語を学び、最初に派遣されたのが東京教区。それから新潟教区、名古屋教区、福岡教区と南下して行きました。福岡では浄水通教会、茶山教会を兼

広報という名の「出会い」人と人を結ぶ広報を目指して

今年度の教皇レオ十四世の「世界広報の日」のメッセージは、「人間の声と顔を守る」ことをテーマとし、コミュニケーションの本質を改めて示している。教皇は、「声と顔は神聖なものです。それはわたしたちに神から与えられたものです」と述べ、人間の固有性が神の似姿に根ざしていることを思い起こさせる。

また「人間の顔と声を守る」とは、この刻印を「守ることを意味します」と語り、教会の広報や宣教の根本に人間の尊厳を大切に営みがあることを教えている。一方、デジタル技術、とくにAIについては「コミュニケーションのもつとも深いレベルに侵入する」と注意を促し、便利さの中にある危うさを指摘する。



いのちある全てのものにとつての共通の存在、それはそのいのちをばくくみ育てた両親です。幼いのちを腕に抱き、来る日も来る日も温かい眼差しでその名を呼び、語り掛ける母に、特別の感情を私たちは抱きます。女性が母になるのは単にその胎においていのちを育んだからでしょうか。確かにそうでしょうが、それより、そのいのちの為に全てを置き、愛情を注いだからだと思います。それは、母である以上に母になるように日々があるからだと思います。▼「ぶどう酒がなくなりました」「ぶどう酒がなくなりました」「婦人よ、私とどんなかわりがあるのです」「この人が何か言いつけたら、その通りにしてください」(ヨハネ2:3-5) これらは、主がカナにおいて行った奇跡として、ヨハネ福音書に記されている場面での主イエスと聖母マリアとの間に交わされた会話です。この親子の間で交わされた会話が私たちに与えるメッセージは、御母の御子に対するゆるぎない信頼と委託です。この信頼と委託を無碍(むげ)にできない神の御子の姿です。そこには、親子を超えた一人の信仰者に対する神の姿と、若い二人のこれからのあゆみに染みをつけたくないとする神の配慮があります。▼信仰者の母・聖母マリアは、私たちの喜びをご自分の喜びとし、これらの不安や苦しみを、神の子であり我が子である主イエスに「ぶどう酒がなくなりました」と私たちが願う前から執り成してくださいます。御子は母の全幅の信頼を退けられませんが、私たちに、聖母に対する信頼と執り成しを願う口ザリがこの手にあるでしょうか。(J)

◆ 福岡教区創立 100 周年に向けて ◆

2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。教区報では、各小教区や団体、司祭・修道者、信徒が100周年に向け取り組んでいること、100周年への想いなどを募集。こちらで紹介していきます。「創立100周年」の情報は右記QRコードからご覧いただけます。



1927年という時代
福岡教区誕生の背景と、
歩んできた100年



福岡教区が創立された1927年はどのような年だったのでしょうか？記録から探ってみましょう。

『宣教司牧方針』によると、1927年7月16日付けで福岡教区が創立されました。初代の教区長は、パリ外国宣教会のフェルディナンド・チリー司教（写真）と記されています。任命したのは当時のローマ教皇、第259代ピオ11世です。ピオ11世は1857年にオーストリア帝国でお生まれになり、1927年はちょうど70歳にいられた年でした。教皇就任は1922年、帰天により離任したのは1939年です。第2次世界大戦が始まる少し前のことでした。歴史の歯車が大きく回ろうとする世界情勢の中において、カトリック教会の在り方を模索し続けた教皇だったといえるかもしれません。

この年、世界の著名人で懐かしい人たちが生まれています。ギタリストで映画「禁じられた遊び」のナルシソ・イエペス、俳優で映画「偉大な生涯の物語」にも出演したシドニー・ポワチエや「刑事コロンボ」のピーター・フォーク、歌手で「バナナ・ボート」のハリー・ベラフォンテや「ムーン・リバー」のアンディ・ウィリアムスなどです。日本ではコメディアン植木等、作家で「どくどくマンボウ」シリーズの北杜夫、小説「官僚たちの夏」の城山三郎、小説「たそがれ清兵衛」の藤沢周平などが生まれています。

また、9月13日に有明海台風が熊本県を襲い、高潮の影響もあって400人を超える犠牲者が出ました。変わったところでは、火災専用の電話番号が112番から119番に変更になったのもこの年です。

さて、みなさんは100年前が遠いとお感じでしょうか？それとも身近な思い出につながりましたでしょうか？来年の7月16日、時代を生き抜いてきた福岡教区が100周年を迎えます。

※思い出の投稿をお待ちしています。



洗礼を受け晴れやかな表情の内田さん（左）と宮崎神父（中央） 右はお茶目なピアッツィニ・ジュセッペ神父（ミラノ外国宣教会・聖マリア病院チャプレン）

初めて久留米教会を訪れたのは、育ての親である祖母の... 約20年前、私は妻と出会い、同時にカトリックにも出会いました。それまでの人生で、カトリックに触れることがなかったため、初めの頃は、ミサや祈りの習慣を興味深

「導かれた受洗の喜び」カタリナ・リタ内田真友子 久留米教会（前）宮崎保司神父

復活の主日を中心に、各地の教会で洗礼の秘跡を受け、新たに主のもとへ歩み始めた方々がいる。それぞれの歩みの中で与えられた恵みを思い、神の平和のために生きる決意に心を寄せつつ、聖霊の導きのうちに歩む今後の信仰生活に豊かな祝福を祈る。

洗礼のめぐみをいただいで



喜びに輝く笑顔の岩根さん一家とシルバノ神父

約20年前、私は妻と出会い、同時にカトリックにも出会いました。それまでの人生で、カトリックに触れることがなかったため、初めの頃は、ミサや祈りの習慣を興味深

「神の平和のために生きる」 アシジのフランシスコ 岩根俊哉 菊池教会（シルバノ・ダ・ロイト神父）

受洗の日、額に聖水を受けながら「体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。」という福音を思い起こした。神をより近くに感じ、背筋が伸びる思いだ。洗礼名は、これまでの人生に重なる部分が多いカツシアの聖リタと、「これからは信仰と自らの知恵で人生を切り拓いていきたい」という思いで、シエナの聖カタリナからいただいたカトリナ・リタとした。

久留米教会で宮崎神父様から洗礼を受けることができたのは、聖霊の導きだと感じている。神の恵みと神父様、代母様、関わってくださった方々に感謝し、謙虚に学び、人に赦され、自分も人を赦せるようになりたい。



リチャード神父（左）から洗礼を授かる筆者

カトリック信徒の夫と結婚し、子ども3人は先に洗礼を受けていました。私自身は、一歩覚悟を決めず、気がつけば長い年月が過ぎています。

洗礼を受けたいまま教会に通い続ける中で、リチャード神父様や伊万里教会の信徒の皆さんは、いつも家族のように温かく接してくださ

「今しかない」クレアバークー可奈 (前)リチャード・ストリゼウスキー神父

私と神様の出会いは、稲妻が走るような大きなものではなかったのですが、日々の生活の中で神様は常に語りかけてくださっていました。それに気づき、信仰の道を歩み始めることに、大きな喜びを感じています。

洗礼の秘跡を授かるにあたり、多くの皆さまからの祝福と祈りを頂いて、神様の恵みを感じております。苦しみの多い今の世界の中でも、神の平和のために希望を持って働くことができるよう、これからもイエス・キリストの生き方を学び、祈りの中で生きていきたいと思っております。

4月5日復活の主日、リチャード神父様の伊万里教会での最後のミサの中で洗礼を受け、初めてご聖体をいただきました。時には、これまでの歩みが思い返され、喜びと感謝が溢れ、思わず涙がこぼれました。この恵みに深く感謝し、これからも神様の御導きに従いながら、一日一日を大切に歩んでいきたいと思っております。

教区創立100周年委員会

3月29日、大名町教会で教区創立100周年委員会が開かれた。各委員会から直近の活動内容が共有され、来年度の活動内容や予算について話し合った。

行事専門委員会からは、2月に行われた「ヨブ記～K氏の場合」の分かち合い劇について、信徒の感想が共有された。様々な意味で皆が一つになれた劇であった。参加者は福岡市内からだけでなく、佐賀や北九州からも多くあった。アベイヤ司教は、「信徒の皆さんが生活と聖書を関連付けて脚本を作成し、演者が神の言葉を届けてくれたことに感動した」と評価した。2027年には、カトリック信徒で批評家の若松英輔氏を招き、市民講演会を企画している。

記念誌委員会からは、記念誌の頒布献金価格についての提案があった。信者の負担を減らし、多くの人に手に取ってもらえる金額で調整している。

典礼専門委員会を通して、2027年7月4日の教区創立100周年ミサについても話し合われた。全ての小教区でのミサを取りやめ、一つの場所（マリンメッセ福岡B館）に集い、共に100周年を祝う計画である。みんなが参加できるミサにしたいので、外国人や身体に障害のある人にも配慮し、教区内の遠方の地区には交通費の補助を行うなどして、経済的理由で参加できない人が出ないように気をつけて準備をしていく。

宣教養成委員会に関連して、各地区で100周年に向け研修をして欲しいとのアベイヤ司教からの要請があった。様々な企画を通して、信徒の教区創立100周年への意識を高めるとともに、教区の一歩を目指している。100年を通して頂いているお恵みと信仰を分かち合いたい。今後は、新しい修道者や外国人グループの代表者も委員会のメンバーに加え、より良い準備を進めていきたい。次回の100周年委員会は、2026年6月14日（日）午後3時からカトリック大名町教会で行われる予定。

聖アウグスチノ修道会 桑原篤史神父（笹丘教会）

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.iruka-japan.com/>

総合建築業

- 一般住宅（新築・改築工事）
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る

株式会社 **みこころ舎**

旧カトリック神学院 旧修道院内

問合せ
050-3032-1333

福岡・大分教区合同青年黙想会 ～大沈黙～

3月21日から22日にかけて、福岡教区と大分教区の青年たちによる黙想会が旧カトリック神学院で行われた。テーマ「沈黙の中で神様と出会い」のもと、33人の青年が参加した。

神父様の中には1カ月にわたる沈黙を行い、神様に出会えたという方もおり、1日の沈黙で私が出会うのは難しいだろうと感じた。

沈黙についての講話を行った星野倫淳神父（広島教区）は、自分の内における神様との出会いと神の愛について語った。

講話を聞く中で、私は堅信までの歩みを思い出した。幼児洗礼を受けた後、長い間堅信を受けず、教会にも通っていなかった。2年前、ふと思いつき、ミサに与った。その後も教会に通い、堅信を受けたいと考えた頃に青年会に声をかけられ、活動に参加するようになった。そして今年2月に堅信を受け、カトリック信徒として今日に至っている。

2年前のあの時、私は神様に導かれていたのだと思う。黙想も沈黙もしていなかったが、あの一瞬だけは神様の声に耳を傾けることができていたのかもしれないと感じた。

沈黙の中で、私は神様と出会うことはなかったが、朝を迎えて聖堂に向かった時、いつもよりもはるかに心が軽く、爽やかな気持ちであった。たとえ神様と出会えなかったとしても、常にそばにいてくださっているのだと信じていることができた。

神父様方は、毎日10分でも沈黙を続けることが大事だとおっしゃった。いつか神様と出会えるよう、心がけていきたいと思う。

熊本地区青年会副会長 森亜理沙（帯山教会）

旧カトリック神学院の庭で十字架の道行きを行う



「パウロ的ミッシェン」の地・小笹」
福岡市中央区の端に位置する小笹中央公園は、「聖パウロ」

聖パウロ修道会

福岡教区において、長年にわたり福音宣教に尽くしてきた修道会の活動が節目を迎えた。聖パウロ修道会と聖母訪問会、そしてコングレガシオン・ド・ノートルダム修道会だ。それぞれ閉院となる中、これまでの歩みと教区への奉仕に深い感謝を捧げるとともに、その精神と使命が今後受け継がれ、豊かに実を結んでいくことを願う。

かつての小笹志願院と志願者、指導司祭たち
私達は人間関係、リリーディング、規則的

活など、たくさんの方を学びました。たくさんの方を学びました。たくさんの方を学びました。

口修道会小笹志願院の跡地です。1949年に聖パウロ会の志願院が設立された当時、家は木造建てのバラック、電気はあっても水道も井戸もなく、毎日、丘の下の隣家で水をくませていただき、丘の上まで運び上げていたそうです。以来、たくさんの方の小神学生たちがここで共同生活しながら学びました。私もその一人です。私がいた当時は、40人を超える小神学生がいました。6人の姉の中に育った私にとって、男ばかりの生活はとても魅力的でした。ここで私は人間関係、リリーディング、規則的

宣教の歩みを受け継いで

志願院が設立されて76年たった今年、私たちは福岡教区における共同体を閉鎖することを決定しました。幸い、信徒の協力者の方々が私たちのパウロ的ミッシェンを受け継いでくださいます。車に書籍やメダイや御像を積み、教会や学校を巡回訪問するミッシェンです。この活動の拠点はサンパウロ福岡宣教センターで、今までどおり赤坂福岡市中央区にありま

聖母訪問会



歩みを振り返りながら感謝の祈りを捧げるシスターたち

「共に歩んだ日々」に感謝

3月15日四旬節第4主日、新田原教会では聖母訪問会・新田原修道院の今春の閉院にあたり、シスターたちへの感謝も込めてミサが捧げられた。司式はヨゼフ・アベイヤ司教、共同司式は谷口尚志神父（新田原教会）、そして駆けつけた前任の杉原寛信神父（佐賀教会主任）。聖母訪問会のシスター9人と信徒約180人が集い、長年にわたる歩みを振り返りながら、感謝と祈りを一つにした。

訪問員会（現聖母訪問会）の創立者でパリ外国宣教会のアルベルト・ブルトン神父は、1931年、福岡教区司教に着座後、東京にあった本部修道院と修練院を浄水通に移し、1933年には新田原修道院を設立した。ここでは人々の生活苦に心を寄せ、託児所や浴場の設置、新田原診療所（新田原聖母病院の前身）の開設など、その働きは地域の苦しみに寄り添う福音の実践であった。

アベイヤ司教は「長年の奉仕に心から感謝する。奉獻生活を通して示された信仰の証は、私たちに与った大きな恵みであった。別れは寂しいが、それぞれの地で豊かな実を結ぶよう祈りたい」と語り、

「2027年の福岡教区100周年には絶対来てくださいます。今すぐメモに書いてください。今すぐメモに書いてください。今すぐメモに書いてください。」と加え、聖堂は笑顔に包まれた。信徒を代表し、大水健二氏は「教会の礎を築いてくださった存在。教会学校ではシスターたちから多くを学び、地域では『優しい病院』と親しまれてきた。どんなに離れていても祈りで繋がっている」と挨拶をした。谷口神父は「私は大名町教会出身で、聖母訪問会は教会学校で指導を受けた縁深い存在。残念だが人間は失ってからの大切さに気付く生き物。いただいたものに感謝し、それを糧に歩んでいきたい。2030年には新田原教会も100周年なのでぜひ来てください」と語り、杉原神父は「神を信じて生きるその生きざまから、私たちは信仰の在り方を教わった」と振り返った。

修道院長のSr.松坂裕子は、信徒と共に歩んだ姉妹たちの年月を顧み、修道院の高齢化で教会共同体に支えられてきたことへの感謝を述べた。その後の送別会では手作りの料理が並び、歴史を振り返る上映も行われた。笑顔とともに思い出が語られ、別れを惜しむ中にも、これから生きたる希望が灯されていた。

教区立幼稚園 辞令交付式

4月1日、浄水通教会で、福岡教区内のカトリック幼稚園の辞令交付式が行われた。今回、辞令を受けたのは、福岡教区立の五つの幼稚園と学校法人立の七つの幼稚園の園長3人及び職員15人の計18人。

午前9時30分に浄水通教会で始まった辞令交付式では、教区及び学校法人のそれぞれの代表者が辞令を交付した。続いて、アベイヤ司教から、「カトリック教育事業の教職員に求められるもの」という内容で講話が行われた。講話の中で司教は、エリコで盲人を癒したイエスの生き方を例に取り上げ、「子どもに関わる際には、『立ち止まり、聞き、関わる』こと」が重要であること、「静かな時間を持ち、生活を振り返ることの大切さ」、「偏見や固定観念から解放された『他人に開かれた心』を育てること」、「同じ園の他の職員、子どもたち、子どもの家族とともに学ぶこと」、最後に「祈りを通して、感謝、繋がりを覚えること」を強調した。

辞令交付式後は、記念撮影などを行い、司教館の会議室に移動した。司教館では、先輩の園長から「幼稚園職員としての心構え」について、実体験を通して感じておられることを中心に講話があった。事例として、幼稚園で稲を育て、お米を収穫する体験学習をしたところ、稲を育てるうちに、子どもたちがお昼ご飯のお米、そしてご飯を大切にしよう意識が変わっていった様子や、クリスマスに、イエス様の飼葉桶に敷くために捧げてきた藁が、自分たちが育ててきた稲の藁であることに気づき、クリスマスの準備に喜んで取り組む様子などを披露され、子どもたちは実体験を通して思いもかけないことを学んでいくと話された。

次いで、園で勤務するための準備として、就業規則の基本的な説明を受けた後、グループに分かれて飲み物をいただきながら、しばらく懇談した。教区本部事務局 久志 昇



辞令交付式での記念撮影に臨む



祈りの場・仙水町修道院の聖堂

これまで、多くの人々に支えられながら神の国の福音を宣べ伝えてきたが、会員の高齢化によって派遣が困難になった。戸畑地区にシスターがいなくなることは大変寂しく残念ではあるが、これからは神様は別の方法で導いてくださることを確信している。

修道院は今後「カトリックセンター」として、学園の教育活動の新たな活動拠点として活用される。学園はこれまでどおりカトリック教育を継続し、その精神は次世代へと受け継がれていくこと

Advertisement for Nagasaki Spaghetti, including contact information and a QR code.

Advertisement for the Nagasaki Diocese Personnel Change, listing names and positions.

「QRコード」という名称はデンソーウェーブの登録商標です。

年間目標 『未来に開かれた教会』となる

福岡教区創立 100 周年に向けて かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう

2027年7月16日まで あと 14ヶ月

2025年7月～2026年6月 テーマ：未来に開かれた教会となる

教区創立100周年記念 教区報紙面投稿募集!

これまでの歩みを振り返り、未来への想いを共有するため、エピソードやメッセージ(文章は400字程度を目安に)を募集しています。短い一言メッセージや、写真・イラスト+ひとこと、ちょっとした思い出話(100字～200字程度)でも大歓迎です。

第1回募集期間 5月31日(日)まで

テーマ: 1. 私と福岡教区との出会い 2. 忘れられない司祭・先輩・仲間 3. あの頃の教会風景

応募先: E-mail: cdf-kouhou@nifty.com (郵送) 福岡市中央区浄水通6-28 司教館 広報部

〈100周年行事専門委員会よりお詫びとお知らせ〉 ご好評いただいている100周年ロゴ入りTシャツ・ポロシャツですが、予想を上回る注文をいただいたため現在再発注を行っています。お手元に届くまでに2～3カ月ほどかかります。ご理解とご了承のほどをよろしくお願いいたします。

福岡教区ハンドブック 2026 発行

ハンドブック2026は、6月中旬から下旬にかけ発送作業を行う予定です。各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

- ◆ 典礼暦、教区・地区の主な行事が一目で分かるカレンダー。小教区・委員会で集いや行事を計画するときに便利です。
◆ 《信徒の心得》では秘跡や教会生活の基本を知ることができます。
◆ 《祈り》《ゆるしの秘跡の受け方》《霊的読書(レクチオ・ディヴィナ)》の手引きも掲載。個人やグループでご活用ください。
◆ 掲載されているミサ時間は変更になることもあります。

※スマホやPC用にPDFによる配布も行っています。詳細は、各小教区にお知らせを配布いたしますので、ご覧の上お申し付けください。

日本カトリック女性団体連盟 第52回 熊本総会のお知らせ

[日時] 5月26日(火) 27日(水) [場所] カトリック手取教会聖堂・信徒会館 [テーマ] 全ての人とつくる教会の未来 [基調公演] 山野内 倫昭司教(さいたま教区) [問合せ先] ☎096・352・3030 (手取教会) [参加費] ¥3,000 ※5/27(水)参加のみ当日も受け付けます。詳細は上記QRコードよりご覧ください。

召命を共に祈る会

福岡地区 5月19日(火) 13時30分～ 大名町教会 ロザリオの祈りと分かち合い [問合せ先] ☎090・6422・2257 (山口)
北九州地区 5月9日(土) 14時～ 小倉教会 ミサ 司式: ジョン・ウォンチョル神父(戸畑・若松教会) [問合せ先] ☎0949・24・9905 (藤井)
熊本地区 5月未定 [問合せ先] ☎096・369・8896 (松上)

各種団体の定例会

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報5月号」、または右記QRコードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス https://fukuoka.catholic.jp E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板 会合と催し 5月のこよみ

教区創立100周年記念グッズ Tシャツ・トートバッグ頒布のお知らせ



トートバッグ表 トートバッグ裏

福岡教区創立100周年のロゴの入ったトートバッグができました。詳細は各教会にお知らせしてありますのでお尋ねください。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: 祈りの人々と出会う「主は御自分の親しい人に御旨を示される」(詩編25・14)
日時: 5月14日(木) 10時～15時
内容: ハンナ: 感謝に満ちた母 「わたしの心は主によって喜び踊る」
次回: 6月11日(木)
内容: エレミヤ: 神と格闘する預言者 「主よ、あなたに惑わされました」
問い合わせ先: 真命山諸宗教対話センター ☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186 熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7 E-mail shinmeizan@gmail.com ☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 【5月】
3日(日) 復活節第5主日 武雄教会司牧訪問
10日(日) 復活節第6主日 世界広報の日(献金) 佐賀教会司牧訪問 佐賀地区宣教司牧評議会主催: 信徒研修会
12日(火) 西日本司祭団交流会(長崎)
14日(木) SH委員会(zoom)
17日(日) 主の昇天 伊万里・多久教会司牧訪問 福岡カリタス会議
19日(火) 教区全司祭集会(旧神学院)
24日(日) 聖霊降臨の主日 鹿島教会司牧訪問
26日(火) 日本カトリック女性団体連盟熊本総会(手取)
27日(水) SH全国会議(大阪)
30日(土) 熊本聖母愛児幼稚園祝別式(熊本)
31日(日) 三位一体の主日 唐津教会司牧訪問
【6月】
2日(火) 宗教法人幼稚園 園長会議・理事長会
3日(水) 司教団財務委員会(zoom)
5日(金) 聖心ウルスラ幼稚園・講話(福岡)
6日(土) 馬渡島・呼子・松島教会司牧訪問(～7日)
7日(日) キリストの聖体
■ゴシックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。
美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日10時
ホームレス支援炊き出し 第2・4金曜日 調理14時から 夜回り21時
路上からアパートに入居した方を訪問 第2土曜日14時
問合せ先 ☎092・4331

ザ神父 1419 ジョンソン・デソ
大濠カトリック会館・宣教養成センター
ミアサロン大濠 第1・第3水曜日10時
問合せ先 ☎092・753
みことばのお弁当 2026年度「幸いの宣言」 第4木曜日10時
問合せ先 ☎092・753
大濠カトリック会館 6765

アベイヤ司教さまが「TVのニュースで『花(桜)が咲いた』ことがトップニュースになる国は、世界で日本ぐらいではないかと思えます」と仰いました。「平和ボケ」「花見好き」と思われても仕方がないと思つたところ、「素晴らしいことですね。ラウダート・シにも通じるのではないのでしょうか」と続けられました。

桜の語源を調べてみると、諸説ある中に『咲く』に複数の意味する『ら』を加えたもので、元來は花の密生する植物全体を指した、というのがありました。また桜は、散り行く儚さや潔さも心惹かれる対象で、日本人の精神性を象徴する花と言えるかもしれない。単なる植物名以上の意味を想像できる桜に、「すべてのいのちを大切にす」心がとても自然に結びつきました。

기도와 봉사 (διακονια 디아コニア) 白政昊 (ベク・ジョンホ)

찬미예수님!

안녕하세요. 싱그러운 봄의 향기가 가득한 은총의 성모성월을 맞아 다 이묘마치 교회 백정호 사도요한이 인사드립니다. 오늘은 제가 지금껏 경험한 적이 없는 '은총의 책무'에 대해서, 한 사람의 인생의 무대를 통해서 보고, 듣고, 연기까지 해본 경험을 여러분들과 나누고자 합니다.

여러분들도 아시다시피 저희들의 교회는 말씀의 선포와 증언, 친교와 전례, 그리고 기도와 봉사(사도 2・42)라는 성사로 이루어 집니다. 그런데 성당을 나서서 일상생활에서 행해지는 이 '기도와 봉사'라는 '은총의 책무'에 대해 '당신은 얼마나 충실합니까?'라는 질문을 받으면 저는 부끄러워 고개를 떨구게 됩니다. 그런 와중에 작년 이맘때 즈음, 교통사고로 인해 목발을 짚고 주일 미사를 끝낸 저에게 용기에 관한 말씀 나눔의 연극에 참가라는 권유를 받고는 이젠 더 이상 회피하면 안된다는 생각이 들어, 불안과 걱정이 있었지만 하느님의 도움을 믿고 흔쾌히 참가하기로 했습니다. 그런데 대본속의 옴과 K 씨의 고통이 읽을 때마다 매번 다른 의미로 제게 다가와서 좀처럼 대본을 외울수 없어 줄곧 힘들었지만, 마지막에 가서야 '하느님을 경외하는 것이 곧 지혜이다'(욘 28・28)라는 말씀에서 그동안 혼란했던 마음으로부터, 있는 그대로 [듣고], [공감] 하고 함께 [기도] 할수 있는 은총의 복된 기회를 가졌습니다. 제 안에서 살아 활동하시는 하느님의 말씀에 오직 감사와 찬미를 드릴 따름입니다.

마지막으로, '은총의 봉사'는 책무로서만이 아닌 말씀 안에서 나를 버리고, 인생의 고통을 기쁨으로 만들어 가는 우리 그리스도인이 얻을 수 있는 특별한 은총의 선물이기며,



分かち合い劇から感謝ミサ後の集合写真

여러분들도 '두려워 말고 일어나서'(마태 17・7) 주 하느님의 은총으로의 초대에, 주저 말고 즉각 응답해주시는 것은 어떨까요? 라는 말로 매듭을 짓겠습니다. 끝까지 읽어 주셔서 감사를 드립니다.



W의隠し撮りにて(笑)

さて、そのような桜ですが、桜吹雪の後片付けは重労働です。司教館には桜以外に多くの植物が生い茂り、風の強かった日の翌日は掃除が大変。先日も司教様、十時伸治事務局長に久志昇事務次長らが総出でほうきで掃き、大きなバケツに集めると、3人で仲良くゴミ置き場まで運んで行かれました。(W)

福岡教区セクハラ対応窓口 セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談 セクシュアル・ハラスメント相談窓口 電話 080-2694-4182 受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00